

2025 年 2 月 13 日
富士電機株式会社

CDP2024「気候変動 A リスト」に 6 年連続で選定

富士電機株式会社は、気候変動に対する取り組みとその情報開示に優れた企業として、CDP（注 1）から最高評価の「A リスト企業」に 6 年連続で選定されましたので、お知らせします。

（注 1） 環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買組織の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている国際非営利組織。



当社は、「豊かさへの貢献」「創造への挑戦」「自然との調和」を経営理念に掲げ、エネルギー・環境事業で、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献していくことを経営方針に定めています。

脱炭素化や循環経済への移行など、環境負荷ゼロを目指すことを骨子とした「環境ビジョン 2050」では、「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」「自然共生社会の実現」を掲げています。「脱炭素社会の実現」においては、以下の「2030 年度目標」を定め、産業革命前と比較した気温上昇を 1.5℃に抑えるため、サプライチェーン全体での取り組みを進めています。

「2030 年度目標」

・ サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量（Scope1+2+3）	46%超削減（2019 年度比）
・ 生産時の温室効果ガス排出量（Scope1+2）	46%超削減（2019 年度比）（注 2）
・ 製品による社会の CO ₂ 削減貢献量	5,900 万トン超/年
（注 2） 2013 年度比削減率 54%	

当社は、環境の取り組みを経営の重要課題と位置付け、SDGs 推進委員会での審議ならびに取締役会への報告を定期的に行うとともに、気候変動に起因する「リスク・機会」と「適応策」および「財務影響」について、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に沿った開示を進め、2050 年の脱炭素化に向けて、2030 年度目標に掲げたサプライチェーン全体ならびに生産時の温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

こうした取り組みに加え、脱炭素の 2030 年度目標達成に向けた環境投資額の開示や脱炭素化に貢献する中長期的な技術開発の取り組みなどが評価され、6 年連続での「A リスト企業」選定となりました。

当社は、エネルギーの供給サイドから需要サイドまで、脱炭素社会の実現に貢献する製品・システムとして、地熱、水力、太陽光などのクリーンエネルギー関連設備や、パワー半導体やインバータなどの省エネ機器を提供することで社会の CO₂ 削減に貢献しています。

生産活動での温室効果ガス排出量の削減に向けては、自社工場への、太陽光発電設備の設置やオフサイト PPA の導入などによる再エネ電力の利用拡大を図り、再エネ利用率の向上を目指すとともに、当社製エネルギーマネジメントシステムやインバータ、高効率空調などの省エネ機器の導入、製品や製造工程における SF₆などの地球温暖化係数の高いガスの削減・代替などを推し進めています。

サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減に向けては、燃料転換や CO₂ 回収といったエネルギーのクリーン化や熱電化システム、直流配電など新領域における製品開発や、カーボンフットプリント（CFP）の取り組みを通じた環境配慮型製品の提供を推進してまいります。